

令和5年度 第2回学校協議会 会議録

1 日 時 令和5年12月4日(月)18時30分

2 場 所 産業高校会議室

3 出席者

(1) 学校協議会委員(50音順 敬称略)

産業高等学校元PTA会長	池内 美智子
産業高等学校同窓会副会長	北野 好美
岸和田市中学校校長会会長・野村中学校校長	木實 広
日本継手株式会社・総務部長	信貴 政則(協議会会長)

(2) 学校(事務局)

校長	大西 敦子
全日制教頭	安井 孝(司会)
定時制教頭	榎本 正広
全日制情報科長	田井 光宜
事務長	橋本 純(記録)

4 欠席者

産業高等学校PTA会長	中島 嗣行
-------------	-------

4 次第

1. 校長挨拶

2学期は多くの学校行事を開催したが、その中でも大きいものが産高祭。全日制はほぼコロナ前の規模に戻して開催し、保護者や卒業生、多くの方に来場いただいた。定時制は保護者・ご家族のみとしたが、それでも多くの方にお越しいただき、競技にも参加いただいて盛況だった。また、第1回の協議会で紹介した商業科の新カリキュラムの中で、企業様にもご協力いただいた開発商品の販売実習を行った。生徒対象の販売のみであったがいずれも即完売した。

次の日曜日(12月10日)から、修学旅行に出発する。

2. 会長挨拶

コロナが5類になって7か月経過し、外国人観光客の増加、飲食店の賑わい等、活気を感じるようになった。また、スポーツにおいても今年は関西の年であった。阪神タイガースを見ると、監督の采配がどれだけ大事なのかと感じた。先生方も多方面から作戦を練って対策を立てるのは大変と感じる。

3 (1) 生徒一人一台端末の活用状況と課題について

・令和2年の新型コロナの蔓延を契機にGIGAスクール構想が広まり、本校でも一人一台端末を要望していたが、ようやく令和5年4月に全日制・定時制合わせて895台の端末の運用が始まった。

●全日制

- ・端末の整備からまだ日が浅いが、調べ学習での端末活用が始まった。地域探求という科目では発表の際の利用、家庭科では包丁の使い方や、生命・子どもの誕生・妊娠に関する動画の視聴、体育では体操やダンスの動きの確認、英語では正しい発音を生徒に聞かせるといった利用をしている。
- ・iPad のアプリを活用し、自分が作成した情報をクラウド上に保存することによって、いつでもどこでも活用することができる。なかなか手を挙げて自分の意見を発表することができなかった生徒も、アプリの中で自分の意見をどんどん発表する機会が増えた。
- ・12月実施予定の学校教育自己診断の中の質問項目に、iPad の活用状況を追加する。夏期休暇中に指導教諭の先生から使用の方法についての研修会を行ったり、府教委の研修活動に参加したりしながら活用方法を広めていきたい。
- ・課題としては、iPad に動産保険を掛けられていないため故障した場合に補償がない。故障すると自己負担になるため、自宅に持ち帰って学習させるといったことがしにくい。また、iPad の管理サーバーのスペックが弱く回線速度が出ない。各教室に充電保管庫を設置しているが、充電が一気に始まってしまうと電力の不足なのか、一部の機器で充電できていない。
- ・機器トラブルが発生すると授業に支障が出る。また、アプリに更新が入ると今まで使っていたものが使えなくなる可能性がある。専門知識を持つ者がいないので、保守業者に来てもらう形になると、どうしても時間がかかる。
- ・端末を活用した授業展開をしている教員はまだ一部だが、今後増えてくれば生徒も端末に触れる機会が増える。その時にはマナーの問題、著作権の問題、倫理観の問題など、いろいろ出てくると予想される。

●定時制

- ・1人1台ということではあるが、定時制では定員の1学年40名に対して40台配置されず、在籍生徒数に合わせた数の配置。今年度は入学者が多く台数が不足した。その後、全日製の協力も得て台数は確保したが、まだ関連機器は不足している。
- ・1人1台の使い方ではないが、先日の公開授業週間でみた授業では次のような使い方をしてきた。公民科の「公共」という科目では、生徒を班分けしてグループに端末1台を渡し、班ごとの意見を入力し、それをクラス全体でリアルタイムに共有するという使い方をしてきた。生徒はスマホと同じような感覚でスムーズに入力している。数学では、微分概念をビジュアルで画面に見せて教える、練習問題もiPadでさせるということをしている。
- ・今年に入ってから2回、定時制の全教員で研修を行った。先月には、府立の桜塚高校の公開授業を見学させてもらった。困難もあるが、新しい道具を使っていける楽しみもあると感じている。

●質疑応答

- (委員) ポリテクにも情報科がある。クラスの人数は少ないが、どんな活用をしているかを見せてもらってもいいのではないかな。
- (委員) 生徒は、どの程度自由に使えるのか。

- (事務局) 自由に使わせたいが、故障すると補償がない。徳島県の例では、県で導入したタブレット端末の 3,600 台余で故障や紛失が生じ、代替機を用意できない事象があった。本校では授業で使用するとき教員が iPad を出し、授業が終わったら収納している。
- (委員) 先生が管理しているとのことだが、授業中に使用している間は自由に使えるということか。
- (事務局) ブラウザにフィルタはかけているが、生徒が授業の中で必要のものを調べたり、それを見たり聞いたりということに関しては問題なく使える。
- (委員) 学校へのスマートフォンの持ち込みは、禁止しているのか。
- (事務局) 持ち込みは禁じていないが、使用は昼休みと放課後のみとしている。定時制は、教室の前にカゴを置き、授業中、生徒はそのカゴに入れるようにしている。
- (委員) 中学校ではどのように管理しているか。
- (委員) 学校によっては、自由に使わせている中学校もある。持ち帰らせている中学校もあるが、充電器を家庭のものと混同するといったトラブルがある。
タブレット端末を使う場面を作るようにしている。3者懇談会の際に、生徒自身に自分が取り組んだことを担任と保護者の前でプレゼンさせている。それでタブレット端末の使い方とプレゼンテーションを学ぶ機会にしている。
- (委員) 限られた予算の中で、よく工夫されていると思う。担当者としては腹立たしい部分もあると思うが。
- (事務局) コロナの時に 200 台先行して導入し、後から全校生徒の台数分ということになったため、先に入った iPad が第 8 世代、後から入ったのは第 9 世代で仕様が若干違う。予算上の制約で管理ソフトが無く、トラブルで元に戻せなくなると困るため、自由には使わせにくい。
- (委員) Google ベースやクラスルームとか使っていると思うが、実際のところ使える機能は限られる。ロイロノートなどはどうか。
- (事務局) Google のドキュメントで作った様々な文章を、ジャムボードを使って発表しての意見共有や、サファリ等を使った調べ学習にとどまっている。ロイロノートは月額の使用料負担が課題。
- (委員) 数百台規模で iPad を整備して運用を始めると、アプリの更新も同時になって、回線が細いと止まってしまう。せめて回線は太くしてもらってところから、やってもらえれば。
- (委員) 特にセキュリティ対策のソフトで重くなる。YouTube も普通に見られるのか？
- (事務局) YouTube に制限をかけてしまうと、見たいものが見られないということも発生する。
- (委員) YouTube もネットワークを使うので落ちる原因になる。制限を掛ける必要があるかも知れない。
- (事務局) 校内にサーバーがあるのも一長一短。小中学校は教育センターで集中管理している。
- (委員) 学校に置くのにも限界はある。時代のトレンドはクラウド。初期費用もかからないが、ランニングコストはかかるので、予算確保がどうなるか。
- (事務局) それでも今まで出来なかったことを出来るようになってきている。少しずつ前進していこうと考える。先ほどのご提案にあった、近くで参考になる事例があれば参考にしてやっていきたい。

(委員) 充電設備の問題はどうにかならないか。

(事務局) 原因が電力不足だけなのかが分からない。充電の差し口を正しく差していなかったということもある。当初は夜中に充電するという設定にしていたが、それでは充電できていない端末が多かったため、昼間でも充電する設定に変えたところ、充電できていなかったケースは大幅に減った。

夜中に充電していた時は、昼間に充電保管庫に入れても充電ランプがつかない。だから生徒たちも充電の差し口を正しく差しているか分からなかったが、昼間も充電するようにすると、正しく差すと充電ランプがつくので、それで確認できるようになった。

少しずつ良くなるように工夫していくしかないが、生徒全員が端末を使って授業ができる環境が整ったので、これから教員も勉強しながらやっていく必要がある。

(委員) その他、今年の学校行事は普通にやっているのか。

(事務局) 予定していたものは出来ているし、規模もほぼコロナ前に戻している。

(委員) 年明け以降の行事はどうか。

(事務局) インフルエンザの心配があるためマラソン大会は中止とした。産業教育フェアのファッションショーは一般の方は入れず、生徒の家族と1,2年生のデザイン科の生徒のみとした。

19時20分終了

※次回は3学期後半に開催予定